

みずほCustomer Desk Report 2018/07/24 号(As of 2018/07/23)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.95
TKY 9:00AM	111.07	1.1740	130.41	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	111.54	1.1750	130.70	1.3148	0.7431
SYD-NY Low	110.75	1.1684	129.87	1.3159	0.7438
NY 5:00 PM	111.33	1.1691	130.22	1.3082	0.7372
				1.3098	0.7382
NY DOW	25,044.29	▲ 13.83	日本2年債	-0.1100	2.00bp
NASDAQ	7,841.87	21.67	日本10年債	0.0800	5.00bp
S&P	2,806.98	5.15	米国2年債	2.6308	3.76bp
日経平均	22,396.99	▲ 300.89	米国5年債	2.8220	5.83bp
TOPIX	1,738.70	▲ 6.28	米国10年債	2.9588	6.47bp
シカゴ日経先物	22,485.00	▲ 60.00	独10年債	0.4040	3.45bp
ロンドンFT	7,655.79	▲ 23.00	英10年債	1.2695	3.90bp
DAX	12,548.57	▲ 12.85	豪10年債	2.6660	4.85bp
ハンセン指数	28,256.12	31.64	USDJPY 1M Vol	7.75	0.15%
上海総合	2,859.54	30.27	USDJPY 3M Vol	7.80	0.11%
NY金	1,225.60	▲ 5.50	USDJPY 6M Vol	8.00	0.08%
WTI	67.89	▲ 0.37	USDJPY 1M 25RR	-1.15	Yen Call Over
CRB指数	192.49	▲ 0.14	EURJPY 3M Vol	7.96	0.06%
ドルインデックス	94.67	0.22	EURJPY 6M Vol	8.40	0.05%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月23日	23:00	米 中古住宅販売件数	6月 5.38m	5.44m
	23:00	欧 消費者信頼感	7月 -0.6	-0.7

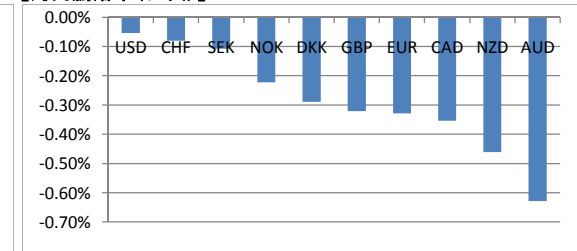
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月24日	17:00	欧 マークイット製造業PMI	7月 54.7	54.9
	17:00	欧 マークイットサービス業PMI	7月 55.1	55.2
	22:45	米 マークイット製造業PMI	7月 55.1	55.4
	22:45	米 マークイットサービス業PMI	7月 56.3	56.5
	23:00	米 リッチモンド連銀製造業指数	7月 18	20

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.80-111.80	1.1600-1.1750	129.30-130.80

【マーケットインプレッション】

昨日のアジア時間のドル円はトランプ米大統領が自国の利上げや他通貨安に対する不満を表明したことに加え、日銀がマイナス金利の長期化による副作用を回避すべく微調整を検討するとの観測が台頭し、一時110.75まで下落する展開となった。その後、米国時間に入り米金利が上昇する動きにつられて111円台半ば近辺まで戻し111.33でクローズした。本日については、米中貿易摩擦の先行きが不透明な中、人民元安傾向が続いており、他のアジア通貨もそれにつられて下落している状況下、リスクオフ姿勢が緩まらずドル円は引き続き上値が重い展開を予想している。

アジア	ドル円はオセアニア時間早朝に111.50まで上昇したものの、前週末に報じられたトランプ米大統領の一連の発言や、日銀の政策変更の思惑などが重石となり軟調な展開となるなか、東京時間は111.07レベルでスタート。円金利の上昇に伴い円高が進行するも、日銀が約5ヵ月ぶりに指し値オペを実施するとドル円は一時111.17まで反発。しかし、すぐに反落し111円台を割り込むと、安値110.75を示現。その後は110.90付近で動意なく推移し、110.96レベルで海外市場に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.96レベルでオープン。東京時間の下げ幅を戻すようにじわじわ推移し、111.18まで反発した。その後はもみ合う形で111.10レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1728レベルでオープンし1.1743まで堅調に推移、ユーロ円に引きずられる格好となり1.1687まで下落するも、次第に反発を見せ1.1716レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	先週のトランプ大統領の一連の米金利や他通貨安に対する不満発言を受けたドル売りが海外市場で継続し、また、今月末の日銀金融政策決定会合でマイナス金利の長期化の副作用を回避すべく、微調整を検討するとの観測がくすぶっていることもあり、円買いが強まったことから一時安値110.75まで下落したドル円は、111.10レベルでNYオープン。朝方は、米6月中古住宅販売件数が予想を下回り、前回分も下方修正されるものの、トランプ大統領から金利や為替の話が出ないこともあり、ドル買戻しが強まり、ドル円は111.42まで戻す。その後一旦111.25まで反落する局面もあったものの、ドル買戻しが継続し高値111.54まで戻す。終盤にかけては狭いレンジでの推移が続き、111.33レベルでクローズした。一方、海外市場でドル売りが強まったが、前述の日銀に対する思惑を受けたユーロ円の売りにユーロドルは連れ安となり、一時1.1687まで下落し、1.1716レベルでNYオープン。朝方は一旦1.1728まで戻す局面もあったものの、ドルが買い戻される動きに1.1694まで下落する。午後ドル買いが継続したことから安値1.1684まで下落し、終盤に掛けては安値圏での推移が続き、1.1691レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:光石・田家